

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成30年度第3回 (H30.6.7～H32.6.6)
開催日時	平成30年8月24日(金曜日) 午後7時から午後9時まで
開催場所	住吉会館 1階活動室
出席者	委員：青木委員、秦委員、横山委員、吉田委員、田崎委員 事務局：福田係長、樋口主査 編集委託：富山
議題	1 依頼状の手交・委員自己紹介 2 第2回会議録の承認 3 情報誌パリテについて 4 男女平等推進センター企画運営事業について 5 その他(次回開催日程等)
会議資料の名称	資料 ① 第1回会議録 ② 男女平等推進センター事業企画書
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会議内容</p> <p>《開会》これより第3回企画運営委員会を開催します。</p> <p>1 第2回会議録の承認 委員長：第2回会議録について、何か意見はあるか。 委員：2ページ目、5行目「元々の予算が」を「元々の予算の」に変更願いたい。 事務局：承知した。 委員長：他にないようなので、第2回会議録を承認とする。</p> <p>2 情報誌パリテについて 事務局：情報誌編集委託業者は株式会社ドゥ・アーバンに決定した。今回より同席していただく。 編集者：挨拶(省略) 事前に情報誌パリテ21号の構成案を送付したが、表紙についてはイラストと写真のどちらがよいか。また、パリテのロゴについてはイラストであれば筆記体、写真であれば20号までのままと考える。 委員：イラストがよいと思う。(多数あり) 委員長：イラストが多数であったのでイラストとする。 委員：異議なし 編集者：色は緑と赤を用意したがどちらがよいか。</p>	

委員：緑がよい。(多数あり)

委員長：緑が多数であったため緑とする。

委員：異議なし

編集者：他に意見はないか。

委員：発行の日付と号の大きさを大きくしてほしい。

委員：「西東京市男女平等推進センター」の文字を大きくしてほしい。

編集者：文字を大きくするなど、デザイン担当と検討する。

委員：仮の表紙ではあるが、男女平等の視点から母親と子どものイラストに父親も入れて欲しい。

編集者：今回は仮のイラストとなり、実際は特集記事に合わせたイラストとなる。

委員：前回の委員会での意見で、左開きで横書きのものを希望したが、今回の見本は右開きの従来のもと同じとなっている。変更できるか。

事務局：仕様書で文字数、段落数、文字の大きさの基本形を指定している。今回は後半横書きとなっている部分もありこれで実施したい。どのような情報誌が読みやすいかを今後の委員会で話し合うように考えたい。

編集者：委員の担当箇所は、パリテライブラリー3人、パリテ活動報告3人、編集後記1人となる。担当者を決めてほしい。

事務局：パリテ活動報告は、現在実施済みの講座が3つであるので企画者3人をお願いしたい。

委員長：パリテ活動報告は松尾委員、田崎委員、吉田委員とする。
他の委員の希望を聞きたい。

委員：ライブラリー担当を希望する。(3人)

委員長：ライブラリーは青木委員、秦委員、横山委員とする。編集後記は白井委員とする。

委員：承知した。

編集者：ライブラリーと活動報告について原稿の締切を9月19日とする。編集後記は10月4日までとする。

事務局：ライブラリーは31日までに本を決め、事務局に報告いただきたい。事務局で本を購入し、委員に渡すので読んで原稿を作成していただきたい。

委員：承知した。

編集者：次回委員会には初校を作成するので、校正願いたい。

委員：承知した。

事務局：次の議題の前に、7月27日より企画運営委員となり、今回より委員会に参加する田崎委員への依頼状の交付と自己紹介を願いたい。

3 依頼状交付、委員自己紹介(省略)

4 西東京市男女平等推進センター企画事業について

委員長：今回追加で提出された企画について内容を説明いただきたい。

委員：「女性起業支援講座～小さい子供がいても大丈夫～」計画Ⅰ-4女性の就労支援、女性の起業支援。小さな子を育てながら起業して成果を出している講師に、仕事と家庭のバランスの取り方等、経験談を話してもらう。

委員：「その冷え性、女性ホルモンの影響かも？」計画Ⅱ-4性と生殖に関する健康支援。冷え性という身近なテーマから女性ホルモンサイクルを知る。ライフステージごとの女性の性について正しい情報を伝える。

委員：「男性のためのお笑いワークライフバランス」計画Ⅲ-1ワークライフバランスの意識づくり。健康で文化的な生活を送るために、ワークライフバランス意

識の向上を目的とする。

委員長：前回提案のあった企画と今回の企画の中で実施するものを決定したい。数が多いのでどのように決定するか。

委員：既に前委員が企画した講座が終了しているが、実際実施可能な回数はいくつか。

事務局：週間事業を合わせて8講座となる。

取り急ぎ本日は12月までに実施するものを決定していただきたい。

各委員が企画の中から一つ推薦企画をあげるのはいかがか。

委員：承知した。

委員：女性起業支援講座。

委員：妻田部井淳子との日々。

委員：片づけ講座。

委員：CSP講座。

委員：セクハラ・パワハラを週間事業で実施。

事務局：欠席の委員に関しては、自身の企画となるのではないか。

委員長：ゼンタングルアートと防災ということとなる。

事務局：前回の委員会で未実施の分野としてリプロがあった。女性ホルモンの講座を推薦したい。また、LGBTについては今後も継続して講座を実施したいのだが、今年度講座として実施できないようであれば情報誌で特集記事として扱う等、検討いただきたい。

委員長：すでにこの企画案の中で時期を提示しているものから決定するのはいかがか。

事務局：市報原稿の関係で、どんなに早い実施でも10月末もしくは11月上旬となる。

委員：まとめると、「女性企業支援講座」が10月末か11月上旬。「セクハラ・パワハラ」は週間事業の間の11月中旬から下旬。「ゼンタングルアート」は11月末から12月上旬。「妻田部井淳子との日々」は12月。ということになる。

委員長：4つの講座については各講師との交渉で日程調整するでよいか。

委員：異議なし。

事務局：次回の委員会では残りの企画について決定したい。

委員：承知した。

4 その他(次回開催日程等)

事務局：次回は9月14日(金)午後7時からとする。場所は田無庁舎502会議室とする。

委員：承知した。

委員長：では、本日は散会とする。ありがとうございました。

《閉会》